

道路整備促進期成同盟会 高知県地方協議会

令和8年8月19日(水) 提言活動報告

道全協
こうち

令和8年8月19日(水)、国土強靱化実施中期計画を踏まえた関係予算・財源の確保や四国8の字ネットワークの早期開通など、以下4項目について、国に対して提言活動を行いました。

提言項目

- 一、厳しい国際競争の中、我が国の経済成長と国際競争力の強化、強い地域経済や持続可能な地域社会の構築のため、国内投資拡大や生産性向上につながる四国8の字ネットワークの早期開通、暫定2車線区間の4車線化、計画段階評価完了区間の早期事業化など、幹線道路ネットワークの機能強化を図ること
- 一、「第1次国土強靱化実施中期計画」を踏まえた関係予算については、危機管理投資・成長投資による強い経済の実現の観点も踏まえ、通常予算とは別枠で必要な予算を満額確保すること
- 一、半島地域の脆弱な道路ネットワークを強化するため、県東西の構想路線「奈半利室戸道路」や「幡多西南地域道路」の早期具体化に取り組むこと
- 一、国民の命と暮らしを守り、日本列島を強く豊かなものとしていくため、資材価格や人件費の高騰等の影響を十分に踏まえ、新たな財源の創設等により、令和9年度道路関係予算は所要額を満額確保すること



国土交通省 廣瀬技監からは、

- 高知県は津波が想定されている地域なので、高規格道路の役割は非常に重要。
- 老朽化対策に予算がかかる時代になっているので、高規格道路の整備を加速するためには、これまで以上に予算の確保が必要。予算の総額確保に取り組んでいく。と力強いお言葉をいただいた。



国土交通省道路局 鈴木次長からは、

- 8の字ネットワークは「命の道」として非常に重要。皆さんが危機感を持っておられることを実感。
- 物価上昇により実質事業量が減っているのは事実。道路予算の確保に向け皆さんと一緒に取り組んでいく。と力強いお言葉をいただいた。



財務省 小池公共事業企画調整室長からは、

- 高知県の厳しい地形条件を聞き、産業振興や命の道としての高規格道路の必要性を実感した。
- 予算編成についてまだ不透明な部分もあるが、関係機関としっかり議論して予算確保に努める。と理解あるお言葉をいただいた。

【提言概要】

●提言項目の説明等(池田会長)

- ・南国安芸道路の開通により高知市から芸西村まで高規格道路が直結し、開通効果を実感。
- ・近年の豪雨災害・南海トラフ地震への備え、安全安心な暮らし、経済活動における効率化に向けて、道路整備は急務。
- ・近年の道路関係予算は横ばいで推移しているが、物価高騰により実質事業量は過去5年で約2割減。
- ・高規格道路の整備をより一層加速させるためには、物価高騰等の影響を適切に反映した予算・財源の確保が必要。

●高速道路の延伸を見据えた

まちづくり等(中平副会長)

- ・南海トラフ地震発生時に長期浸水が想定されていることから、高速道路の延伸を見据えた防災拠点の高台移転を進めている。
- ・事業中の宿毛内海道路と直結しており、完成することで防災力が格段に向上する。
- ・8の字ネットワークの整備により、宿毛市から6時間で到達できる範囲が広がり、マダイ等の活魚の販路拡大に期待が膨らむ。

●医療を支える高規格道路等(黒岩副会長)

- ・人々が等しく医療提供を受け、安全安心に暮らし続けるためには、「命の道」である8の字ネットワークの整備は必要不可欠。
- ・8の字ネットワーク全線開通により大きな経済効果が期待されるため、早期整備をお願いする。

●国道33号の整備促進(小田副会長)

- ・国道33号は8の字ネットワークと同様に「四国広域道路啓開計画」の広域支援ルートに位置付けられており、本県の緊急輸送を担う「命の道」。
- ・都市計画決定が完了した高知松山自動車道「いの～越知」間の早期事業化をお願いする。